

広報

いせさき

2005.1.1
創刊号

伊勢崎市のホームページ <http://www.city.isesaki.lg.jp>

人口と世帯(12月1日現在) 人口 207,562人(男103,881人・女103,681人) 世帯数 74,949戸



1月1日、4市町村が合併し新しい伊勢崎市としてスタート。「伊」「勢」「崎」「市」のプラカードを掲げるのは、第三保育所(左上)、あかほり幼稚園(右上)、あずま保育所(左下)、すみれ保育所(右下)の園児たち

主な内容 職務執行者あいさつ p.2~3
本庁・支所ガイド p.6~7

期待しています伊勢崎市..... p.4~5
本庁・支所MAP p.8

伊勢崎市スタート

平成17年1月1日、伊勢崎市・赤堀町・東村・境町が合併し、20万人都市「伊勢崎市」が誕生しました。

伊勢崎市データ

人口	207,562人
男	103,881人
女	103,681人
世帯数	74,949戸
面積	139.33km ²



ISESAKI



AKABORI

『新しい伊勢崎市の誕生』



伊勢崎市 市長
職務執行者
金井 昇

明けましておめでとうございます。輝かしい新年を迎え、新しい伊勢崎市の幕開けを心からお祝い申し上げます。

さて、平成17年1月1日、伊勢崎市、赤堀町、東村、境町が一つになり、新しい「伊勢崎市」が誕生いたしました。すべての皆さんが、20万人の県央都市の市民として力を合わせ、順調なスタートができるよう心から願っています。



SAKAI

- 明治22年 赤堀村、東村誕生
- 昭和15年 伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村が合併。
市制施行
- 昭和30年 伊勢崎市、三郷村、宮郷村、名和村、
豊受村が合併。
境町、采女村、剛志村、島村が合併
- 昭和32年 境町、世良田村の一部が合併
- 昭和61年 赤堀町町制施行
- 平成17年1月 伊勢崎市、赤堀町、東村、境町が合併



AZUMA

新しい市長が決まるまでの間、私が市長職務執行者として選任され、職務を務めさせていただくことになりました。限られた期間ではございますが、精一杯努める所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

振り返りますと、合併成就までの道のりは必ずしも平坦ではありませんでした。このたびの合併に向け、任意・法定協議会の設置から、新しい「伊勢崎市」の誕生に至るまで、ご尽力をいただきました関係者の皆さんにあらためて深く感謝申し上げます。

現在の地方自治は「地方分権」という大きな流れのなかで、大きな変革を遂げようとしています。特に地域の福祉、教育や環境などに関する行政は住民に密着したものであることから、国の指導から自立して、地方の責任において行うことが求められております。地方自治体の行財政運営は税収の伸び悩みに加え、三位一体改革による地方交付税や国庫補助金の減額によって、非常に厳しい状況にあります。この地域は北関東自動車道や上武国道などを結ぶ自動車交通の要所に位置し、県内でも例外的に人口が伸びていく活力ある地域としてさらなる発展を続けていくと確信しております。

今後とも、それぞれの地域の歴史・文化を尊重しながら、従来の市町村の枠を越えて、住民の皆さんがお互いに20万人都市のまちづくりに協力し合い、新しい「伊勢崎市」がさらに発展することを期待しております。

市民の皆さんのご理解とご協力を賜りますようお願いし、新市スタートのあいさついたします。



岩崎 夢衣さん (西久保町 二丁目)

高齢化率の低い若い市なので、活気あるまちになることを期待しています。住民への対応が速く、丁寧になるとうれしいです。今、学校に通って看護師を目指しているので、介護などの福祉面が充実する、といいなと思っています。



新井 希さん (新栄町)

自然が多く、活気がある中にも心のやすらぎを感じるこのまちが好きです。これからは人口も増え、人とのふれあいがより多くなってくると思っています。人間味にあふれ、心の通じ合うあたたかいまちになるよう望んでいます。



梅田 剛志さん (太田町)

伊勢崎市は、群馬県という枠を越え、埼玉県北部も含めた地域の中心的存在だと思っこれからは、人が集まるまちづくりだけでなく、企業にとっても魅力的で産官学も含めたまちづくりを進めてほしい。

伊勢崎市

寄せられたメッセージ

大島 敏彦さん (境百々)

自然を大切にしながらの調和のとれたまちづくりを期待しています。子や孫に今と同様かそれ以上の環境を残すことが、大人たちの使命だと思います。公共建造物の計画も、必要性を十分精査してから実施してもらいたいです。



神沢 光則さん (五目牛町)

市として範囲が広がっても、今までと変わらないきめ細やかな住民サービスを期待しています。消防団としては分団の連携体制が強力になるので、住民の負託に応え、今までより安心して暮らせる市になると考えています。



荻原 正枝さん (波志江町 二丁目)

無事に何事も無く合併となりまして、おめでとうございませ。合併して大きなまちになります。これからも未来の子どもたちのためにも、環境の良い明るい社会を目指して、住みよいまちづくりに励んでください。





佐藤 亮介さん（東町）

それぞれに歴史のある市町村が「合併」を決断できたのは、何より住民が次世代への継続的な繁栄を望んだ結果ではないでしょうか。群馬県の中核市として住民の望む、時代を見据えたまちづくり・住民サービスに期待します。



小林 佑介さん（境伊与久）

新しい市になったら境地区周辺がにぎやかになってほしいです。映画館やお店がたくさんできたらうれしいですね。また、僕はクラブ活動でソフトテニスをやっているので、新市の大会ができて、交流試合をしたいです。



下境 孝雄さん（東町）

先人が築かれた良いものは残し、はつらつとした新市を作りあげてほしいです。特に将来を背負っていく青少年教育にはあらゆるものを惜しんではならないと思います。合併して良かったと実感できる市になってもらいたい。

期待しています

市民の皆さんから

手島 佳代さん（境萩原）

行政組織をスリム化して、健全な財政の運営と、新市を担う人材を育成してもらいたいですね。そして、人口20万人の市になります。全体に目を配ってもらい、市民にわかりやすい風の感じられる市政を期待します。



吉田 明子さん（野町）

ボランティアで施設を訪問したり、お祭りなどに参加して琴の演奏を行っています。自分自身、音楽をもっと勉強して、広くなった新しい伊勢崎市全域を活動範囲に、より多くの人に琴を楽しんでいただきたいと思っています。



長岡 知代さん（田部井町）

私たちの意志によって合併を選び、この地域の歴史が幕を閉じ感無量です。合併後も住民へのサービスが低下することなく、各地域の特色を生かし合併して良かったとお互いが共感しあえる明るい新市を期待しています。

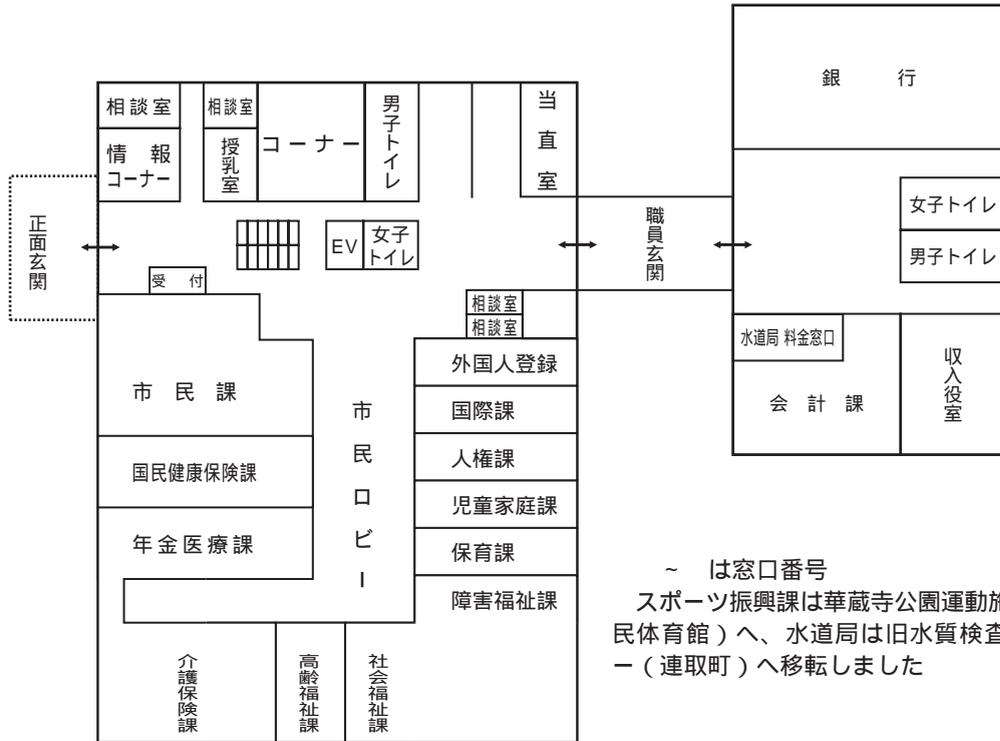


本庁・支所ガイド

旧伊勢崎市役所は本庁となり、旧赤堀町、旧東村、旧境町役場は支所となります。各種証明書の発行や手続きなどは本庁・支所どちらでもできるようになります。また、本庁・支所の窓口などの場所が一部変更になった課がありますので、お間違いのないようにお願いします。

本庁

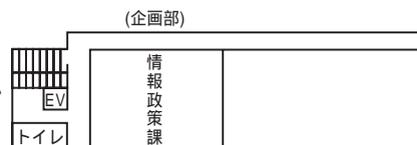
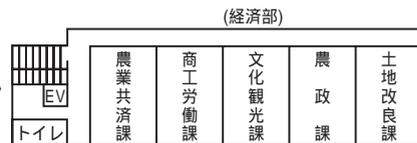
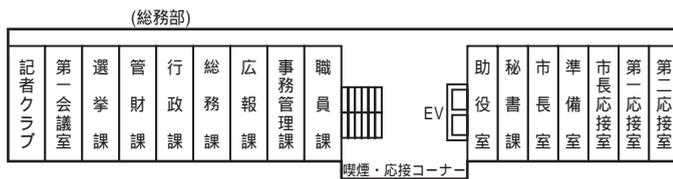
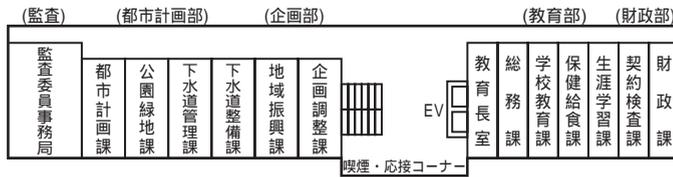
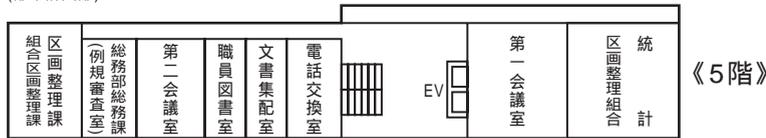
1 階



～ は窓口番号
 スポーツ振興課は華蔵寺公園運動施設（市民体育館）へ、水道局は旧水質検査センター（連取町）へ移転しました

本館

(都市計画部)



新館

支所の業務内容

《庶務課》

支所の管理
 本庁との連絡調整
 支所の予算および執行の調整
 コミュニティー、自治会、防災など
 各種相談、各種申請（支所各課の申請は除く）の受付など
 生活環境、廃棄物、交通、防犯および人権など
 支所の出納に関すること
 その他、他課の所管に属さないこと

《住民課》

戸籍・住民基本台帳、外国人登録および印鑑登録など
 国民健康保険、老人保健および国民年金

《税務課》

市民税および諸税（賦課は除く）
 資産税（賦課は除く）
 税などの収納および徴収

《福祉課》

障害福祉、生活保護および社会福祉
 児童手当、保育所、学童保育など
 高齢福祉
 介護保険

《経済課》

農政、土地改良
 商工業および観光など

《建設水道課》

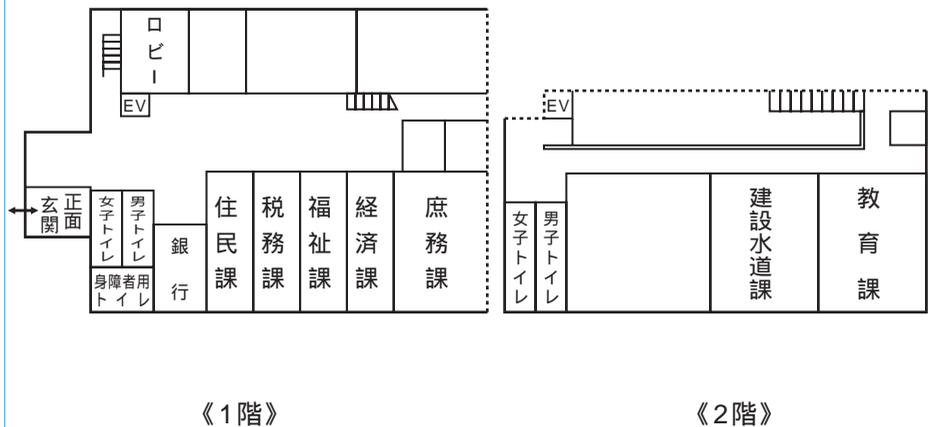
市営住宅の管理、都市計画・公園緑地
 道路および河川の維持管理
 下水道、農業集落排水および合併浄化槽
 水道

《教育課》

児童生徒の就学および就学援助など
 生涯学習・社会教育

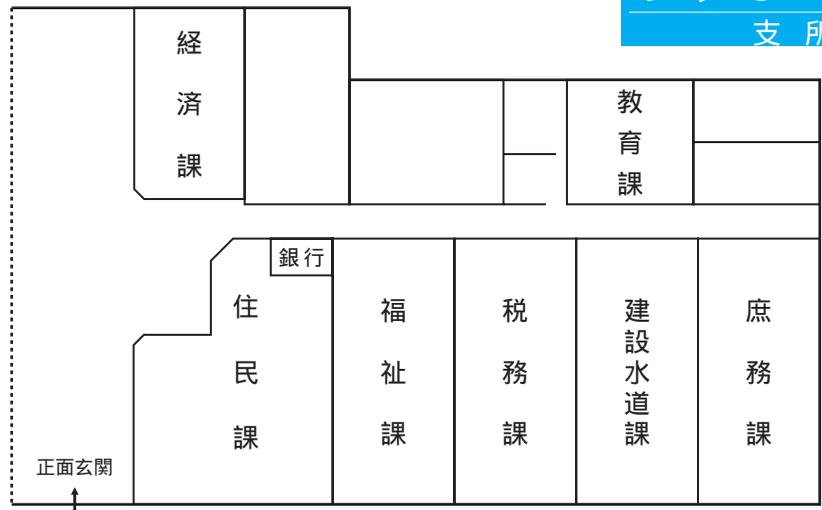
赤堀

支所



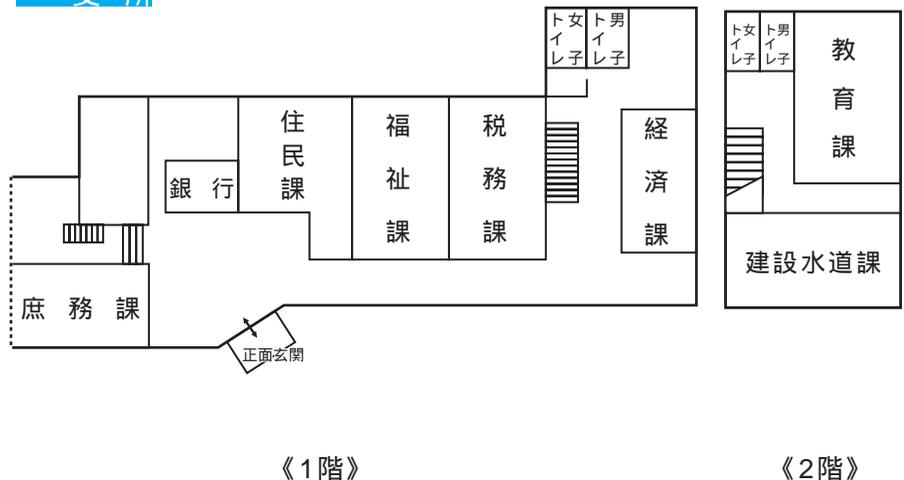
あずま

支所



境

支所



本 支 所 M A P



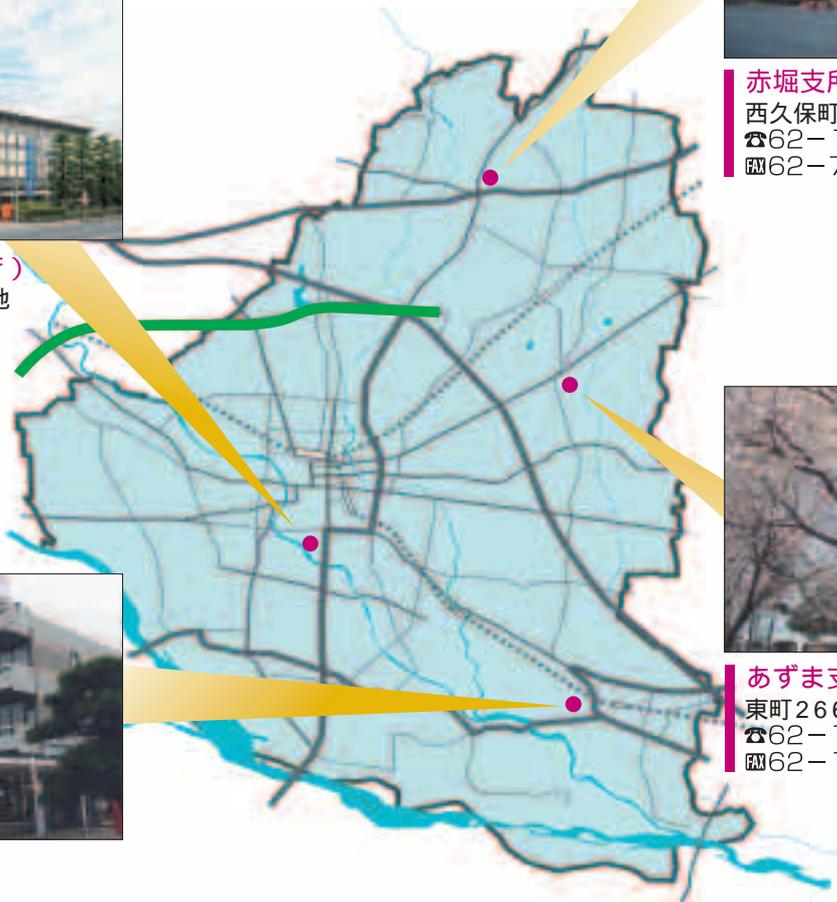
伊勢崎市役所（本庁）

今泉町二丁目410番地
☎24-5111
☎23-9800



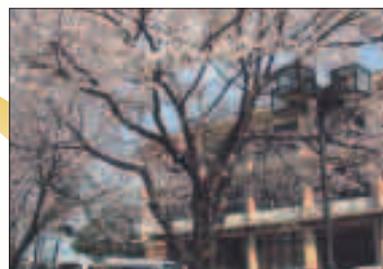
赤堀支所

西久保町一丁目64番地5
☎62-1151
☎62-7638



境支所

境637番地
☎74-1111
☎74-6417



あずま支所

東町2668番地1
☎62-1311
☎62-1313

新しい「広報いせさき」をよろしくお願ひします！

旧赤堀町・旧東村・旧境町の広報紙は、今まで月1回、1日発行となっていたが、これからは月2回、1日・16日発行の「広報いせさき」となります。皆さんの役立つ情報を満載した「広報いせさき」をよろしくお願ひします。



編集後記

友が遠方より来て楽しいのは、互いの無事を祝う意味もある。新しい親戚ができたように合併元年を祝う。(つ)
分らないことや心配ごとがございましたら、広報課にご連絡ください。即答は無理でも精一杯努力します。(と)
この創刊号は合併前から四市町村の広報職員が集まって作ったものです。今後も力を合わせて作っていきます。(ひ)
記念すべき創刊号を担当できてうれしく思います。今後、も皆さんに愛される広報紙づくりに努めたいです。(や)
気持ちも新たに「広報いせさき」を担当することに。新「伊勢崎市」ともによろしくお願ひします。(ゆ)
私は冬でも薄着でいる。全ては慣れだ。新市も最初は違和感があるだろうが、時と共に一体感が出るだろう。(ま)
伊勢崎市の景観も新たに、さまざまなものになるだろう。喜びを感じながら広報紙づくりに努めていきたい。(た)
伊勢崎市・赤堀町・東村・境町の境界線が消えた。障害者、外国人いつかこの線もなくなる日があるのかな。(さ)